

なんぶトリム終了へ

会長 大見謝辰男

8日、なんぶトリムマラソン大会実行委員会臨時総会が那覇市内で開催されました。私が出席しましたが、総会が始まると、一方的な「なんぶトリムマラソン大会を今年をもって終了」の報告でした。終了理由は、南部振興会や南部市町村会などの主催団体が次回大会での主催を行わないことを確認したためです。

各主催団体からも、「各地でのマラソン大会が増えてきた。なんぶトリムマラソンは今年第30回を迎え、初期の目的を一定程度達成したので終了してもよい」という意見が多く聞かれました。

唯一の救いだったのは、南部広域市町村圏事務組合理事長の城間幹子那覇市長の、「なんぶトリム終了に対して各市町村にアンケートをとったところ、ほとんどすべての市町村が賛成で、反対は那覇市のみだった」とのコメントです。私たちの活動拠点の那覇市の市長が、私たちと同様な目線で考えてくれています。

主催者側の説明をひととおり終えた後、実行委員へ意見や質問が振られました。真っ先に手をあげたのは、山田親幸沖縄県視覚障害者福祉協会会長です。障がい者スポーツへの理解を求め、廃止をもう少し先延ばしできないかというご意見でした。

続いて私が次のように意見を述べました。「1996年に第1回視覚障害者マラソン大会が開催された。その時から、私は同大会での伴走ボランティアをしてきた。

同大会は、第15回をもって終了し、代替案としてなんぶトリムとの統合であった。その時『障がい者スポーツの発展に向けた視覚障害者マラソン沖縄大会の今後の在り方について』という説明

資料が入手でき、沖縄の伴走仲間は話し合っただけで発展的解消なのでやむを得ないと賛成した。今回は事前説明がまったくなく、寝耳に水で、会員ともどもびっくりしている。

私たち伴走仲間は、なんぶトリムは視覚障害者マラソン沖縄大会の延長線上にあると思っている。なんぶトリムでは視覚障がい者の部が設けられ、視覚障がい者でも優勝し、海外旅行など大きなプレゼントをもらうことができる。他のマラソン大会では健常者と競うことになり、絶対に勝てない。

大会主催者側から、各地でマラソン大会が増えてきたので、なんぶトリムを終了してもよいとの発言が相次いだ。これは22年前にスタートした沖縄での視覚障がい者マラソン大会が廃止されることを意味する。福祉の視点からみて時代逆行ではないか。

また、なんぶトリムのホームページの大会概要・大会委員長あいさつでは『多くの視覚障がい者の皆様の参加のもと、ノーマライゼーションの理念と福祉に対する意識の高揚を図る』とあるが、今回の終了決定は矛盾しているのではないか。」

このような意見に続く発言はなく、主催者側の有効な返答もなく、臨時総会は終了しました。

参考までに、沖縄県の視覚障害者マラソン大会関連の歴史を紹介します。

1996年1月: 第1回視覚障害者マラソン沖縄大会が玉城村グスクロードで開催。

1996年12月: 第2回視覚障害者マラソン大会に向けて沖縄県庁職員健走会がローランナー3名を受け入れ県内で初の組織的な定期伴走練習会スタート。

1997年3月: 第9回なんぶトリムで視覚障害ランナーグループが出場、県内視覚障がい者が

続々と走り始める。

1999年5月：沖縄伴走ランナーネットワーク設立総会。

2010年1月：視覚障害者マラソン沖縄大会が第15回をもって終了。

2011年3月：視覚障害者マラソンは第23回なんぶトリムマラソン大会に統合され、伴走部門が設立される。

2018年2月：なんぶトリム終了に向けての実行委員会臨時総会説明会。

支部だより(81)

石垣島マラソン大会

伴ネットやいま事務局

1月28日、今年も石垣島マラソンの開催に合わせて伴ネット本部はじめ全国各地からロープランナー(視覚障がいランナー)の皆さんと伴走に関わる多くのボランティアが参加し、大会を盛り上げる事ができました。大会では伴走チーム10組が完走を果たし、ゴールの喜びを分かち合いました。

フルマラソンの後半では、雨が降り出し、過酷なレース展開となりましたが、4度目の石垣島フル完走を果たした兵庫県から参加の安藤隆晴さん(ロープランナー)は、4時間21分の好タイムでゴールし、「今年も石垣島マラソンに参加し、楽しく走ることができました。ありがとうございました。」と達成感をにじませていました。

福井県から参加した青竹レイ子さん(ロープランナー)の伴走を務めた古賀千悠さんは、今回石垣島マラソンで初伴走デビュー。スタート前は少し緊張していた様子でしたが、4時間37分のタイムを出して年代別で表彰され、「目標達成できてうれしかった！」と笑顔で話してくれました。

伴ネットやいま一番の若手、島袋幸恵さんは初めて10kmに参加、糸木優子さんの伴走で走りました。惜しくも時間内の完走はなりませんが、ゴールまで頑張ったということで、後日、やいま特製の完走証とおおみじゃ会長から譲り受

けた完走メダルをプレゼントしました。「とても楽しかった。来年も走りたい！」と嬉しそうでした。

大会後の交流会「全国伴走仲間交流集会 in 石垣島2018」は、場所を居酒屋「錦」に移して盛大に開催され、伴ネットやいま役員による踊りの余興やロープランナーによる三線演奏、各地からの参加者自己紹介と今回の大会参加の感想や伴走への想いを語り合い、おおいに盛り上がりました。また来年も石垣島でお会いできることを楽しみにお待ちしております！

今後の日曜練習案

11日：花見ラン10km。

18日：おきなわマラソン、対応最終決定は11日の練習後ミーティング。例年、7時30分、会場の沖縄県総合運動公園陸上競技場スタンド内で、体育館に最も近い階段を上ったあたりの軒下に集合。荷物を預ける方は全員から500円会費徴収。軽食付き。

25日：通常練習。

3月4日：なんぶトリム伴走講習会、8時、奥武山集合、全員受講をお願い。

11日：なんぶトリム伴走練習会、8時、奥武山。

18日：なんぶトリムマラソン大会。西崎運動公園内体育館前7時集合。

25日：通常練習、次年度に向けての確認ミーティング。

ニュースあいくり

☆18日開催のおきなわマラソン伴走者募集。フル：崎浜啓。10km：崎浜律子。対応可能の方は大見謝または辻内へ。

☆完走講座出身の次の2名が入会。上原希(うへはら のぞみ)、新田靖(にった やすし)。伴ネット会員はこれで89名。

☆4日のおきなわマラソン試走会18kmに約20名が参加。給水車ボランティアは島袋信彦さん、上原喬さん。感謝。